

1. Pass : User name と同じ。
2. Run 3130XL data collection をクリック。
3. service console が全部緑になるまで待つ。
4. 左のツリーを全部開ける。(四角に+のボタンを全部押す)
5. plate manager→new→name 日付
6. application→Sequence analysis
7. owner name、operator name を入力する (同じ名前)。
8. plate manager にサンプル名を記入する。
9. Results group→Results group を選ぶ。 ※専用フォルダを作ってもらえる。
10. instrumental protocol→下の4つから選ぶ。Ver3 試薬の場合、Stdseq50_POP7_BDTV3 を選ぶ。
11. analysis protocol→3130KB_POP7_BDTV3 を選ぶ。
12. OK を押す。
13. Run schedule→Find all で自分の plate file を選んで右の Plate 型のグラフィックをクリック。(リンクすると緑に変わる)
14. Run をクリック (緑色の三角ボタン)。
15. instrumental status を表示しておく。
16. Run 時間は、Std の場合約2時間半。Fast の場合、約1時間半。
17. データは、Eドライブの Seq_DATA フォルダに保存される。

※service console が stop all で全部赤になったら stop できる。(めったにないが shut down の時)

解析が終わってからデータの印刷方法

1. Sequencing Analysis5.3.1 を起動
2. Login (パスワードは名前と同じ)
3. OK
4. File
5. add data
6. ファイル先を表示
7. add selected samples
8. 右の samples to add を選ぶ
9. OK

10. sample manager が表示される
11. 必要Data No をクリック
12. File→Print
13. Print の show Qv Bars(if avairavle)のチェックを外す
14. 必要事項の変更
15. Print
16. データは、CD-R に焼いて持ち帰る。USB メモリを使ってはいけない。